

# 2017年3月期第2四半期 決算説明会



写真 : Denyo United Machinery Pte Ltd (Singapore)

2016年11月22日

**デンヨー株式会社**

# 目 次

---

## I . 2017年3月期第2四半期決算の概要

上席執行役員管理部門長      兎 澤 俊 哉

## II . 2017年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長      白 鳥 昌 一

---

# 2017年3月期 第2四半期決算概要

# 2017年3月期第2四半期実績ハイライト(連結)

## ポイント

連結売上高、利益共に前年同期比を下回る。

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期		前年同期比 増減率
売上高	23,560	100%	22,894	100%	△2.8%
営業利益	1,743	7.4%	1,667	7.3%	△4.4%
経常利益	1,895	8.0%	1,784	7.8%	△5.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,414	6.0%	1,103	4.8%	△22.0%
設備投資	818		204		
減価償却費	598		605		
1株当り四半期純利益	66.21円		51.61円		
R O E	6.0%	年換算	4.6%	年換算	
1株当り中間配当金	14.0円		15.0円		

# 製品別売上高の動向(連結)

## 概況

1. 発電機は522百万円(3.0%)の減少。
2. 溶接機は456百万円(16.7%)の減少。
3. コンプレッサは68百万円(12.6%)の増加。

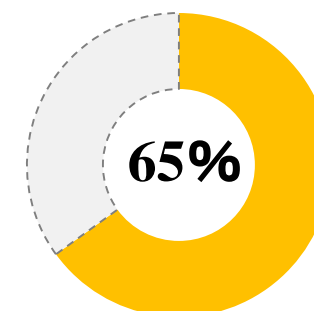
(単位:百万円)

		2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		23,560	100%	22,894	100%	△666	△2.8%
製品別	発電機	17,595	74.7%	17,073	74.6%	△522	△3.0%
	溶接機	2,731	11.6%	2,275	9.9%	△456	△16.7%
	コンプレッサ	539	2.3%	607	2.7%	68	12.6%
	その他	2,693	11.4%	2,938	12.8%	245	9.1%

# エンジン発電機(連結)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発電機	17,595 百万円	17,073 百万円	△3.0%

- 国内は、大手リース・レンタル会社向けが増加。
- 海外は、アジア及び中近東向けが減少。



可搬式エンジン発電機の国内シェア

※当社調べによる



可搬式発電機



防災用発電機

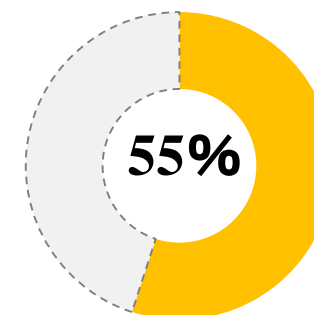
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬式発電機  
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置型）  
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車、パワーライトなど

# エンジン溶接機(連結)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
溶接機	2,731 百万円	2,275 百万円	△16.7%

- 国内向けは、減少。
- 海外向けは、欧州向けが増加するも、米国向けが減少。



エンジン溶接機の国内シェア

※当社調べによる



エンジン溶接機

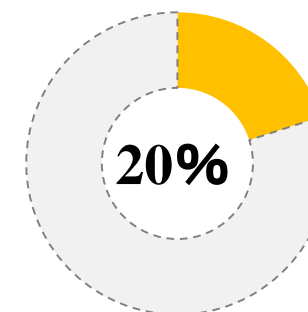
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発  
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、  
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

# エンジンコンプレッサ(連結)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサ	539 百万円	607 百万円	12.6 %

- 米国工場での生産本格化もあり、米国向けが増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる



エンジンコンプレッサ



モーターコンプレッサ

吐出空気量1.6m<sup>3</sup>/minから42.4m<sup>3</sup>/minまで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など



## そ の 他(連結)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
そ の 他	2,693 百万円	2,938 百万円	9.1 %

- 高所作業車、部品等の売上が増加。

### その他の売上

- 高所作業車
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

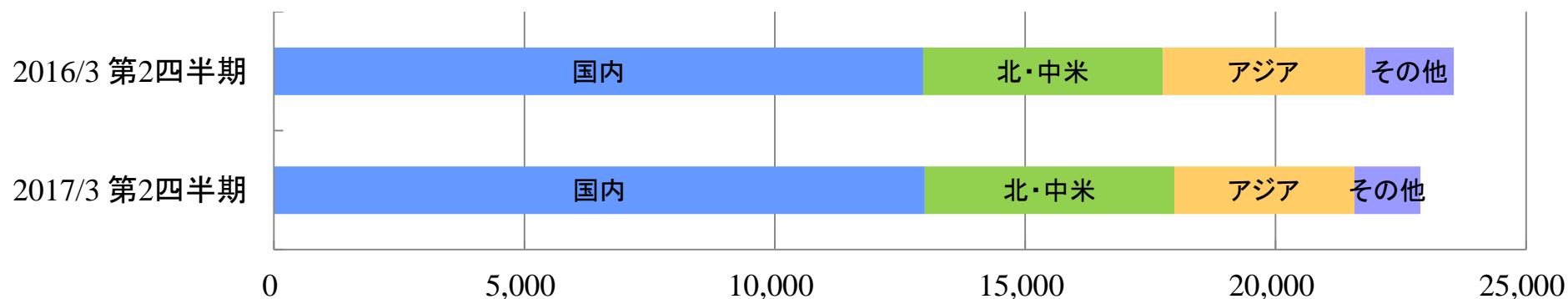


負荷試験装置

# 地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		23,560	100%	22,894	100%	△666	△2.8%
国内売上		12,962	55.0%	12,994	56.8%	32	0.2%
海外売上		10,597	45.0%	9,900	43.2%	△697	△6.6%
地域別	北・中米	4,785	20.3%	4,984	21.8%	199	4.2%
	アジア	4,041	17.2%	3,598	15.7%	△443	△11.0%
	その他	1,771	7.5%	1,316	5.7%	△455	△25.7%



# 営業利益増減の要因分析

## 営業利益減

- 売上高販管費比率の上昇が主な要因。

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営業利益	1,743	1,667	△76
営業利益率	7.4%	7.3%	△0.1ポイント

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上総利益率	24.5%	24.6%	0.1ポイント
売上高販管費比率	17.1%	17.3%	0.2ポイント
売上高営業利益率	7.4%	7.3%	△0.1ポイント

- 売上総利益率は、円高による輸入原材料費の減少などで上昇。
- 売上高販管費比率は、人件費などの増加で上昇。

# 連結貸借対照表

## 概要

1. 流動資産 2,272百万円の減少は、主に売上債権の減少による。
2. 流動負債 2,359百万円の減少は、主に仕入債務の減少による。

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2016年3月期 期末	2017年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流 動 資 産	38,597	42,246	39,974	△2,272
固 定 資 産	25,219	24,747	23,544	△1,203
資 産 合 計	63,817	66,994	63,519	△3,475
流 動 負 債	10,217	12,455	10,096	△2,359
固 定 負 債	4,165	3,726	3,366	△360
負 債 合 計	14,382	16,181	13,463	△2,718
純 資 産 合 計	49,434	50,812	50,056	△756
負 債 純 資 産 合 計	63,817	66,994	63,519	△3,475

# 連結キャッシュ・フローの推移

## 概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー1,711百万円は、税金等調整前四半期純利益の増加などによる。
2. 現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ276百万円増加。

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,506	1,711
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△510	△550
I + II フリー・キャッシュ・フロー	996	1,161
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△652	△458
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△425
V 現金及び現金同等物の増減額	368	276
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	11,144	12,022

---

# 2017年3月期通期の見通しと 今後の経営方針

# 2017年3月期予想～連結損益の見通し

## ポイント

1. 売上高は、505億円を予想。
2. 為替レートは105円/ドルを想定。

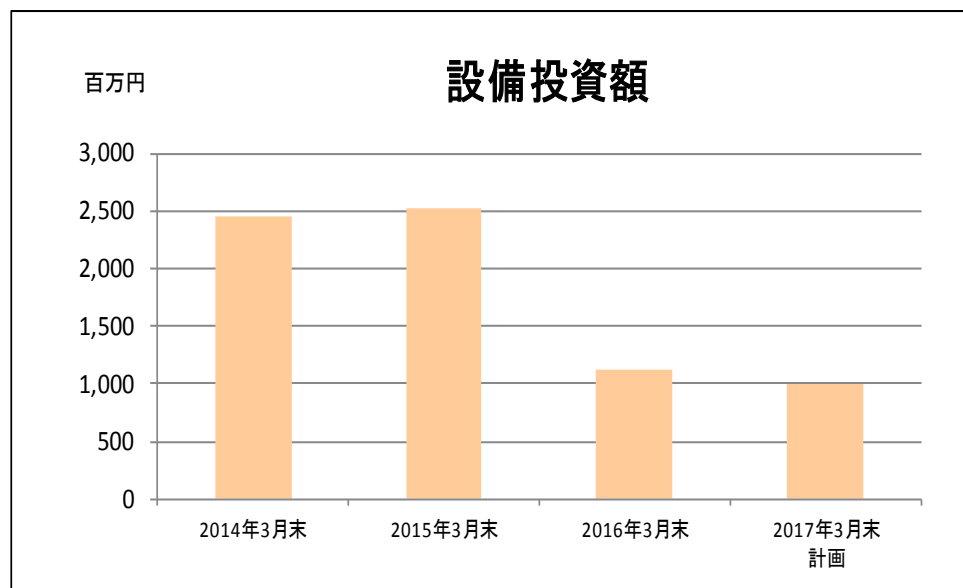
(単位:百万円)

	2016年3月期		2017年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	50,419	100%	50,500	100%	81	0.2%
営業利益	4,097	8.1%	4,100	8.1%	3	0.1%
経常利益	4,494	8.9%	4,500	8.9%	6	0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,137	6.2%	2,900	5.7%	△ 237	△7.6%
設備投資	1,125		1,000		△ 125	△11.1%
減価償却費	1,284		1,250		△ 34	△2.6%
1株当り当期純利益	146.8円		135.7円		△11.1円	
R O E	6.5%		5.9%		※自己資本は前期末の金額で計算。	
1株当り配当金(円)	30.0円		30.0円			

# 設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末 計画
設備費	2,453	2,531	1,125	1,000
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 480</li> <li>・西日本発電機 270</li> <li>・ベトナム工場 440</li> <li>・シンガポール 1100</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 440</li> <li>・西日本発電機 160</li> <li>・アメリカ工場 50</li> <li>・ベトナム工場 1630</li> <li>・シンガポール 180</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 430</li> <li>・西日本発電機 80</li> <li>・ベトナム工場 100</li> <li>・シンガポール 280</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 500</li> <li>・西日本発電機 100</li> <li>・アメリカ工場 300</li> <li>・その他 100</li> </ul>



デンヨーベトナム



# 製品別売上高の見通し(連結)

## 概況

1. 発電機は、106百万円(0.3%)の増加。
2. 溶接機は、300百万円(5.9%)の減少。
3. コンプレッサは、196百万円(17.8%)の増加。

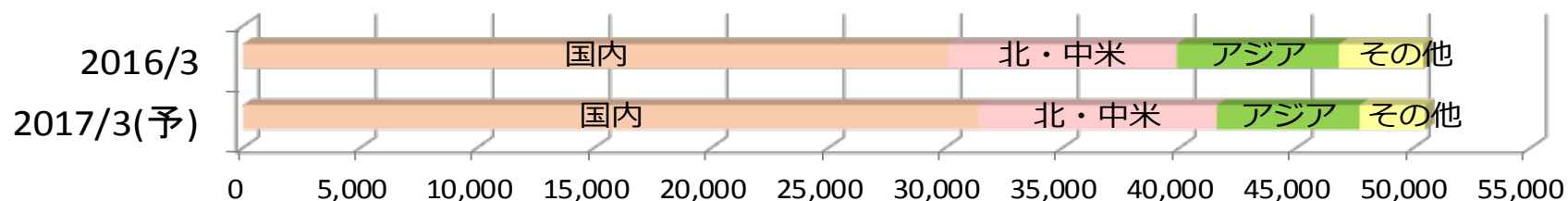
(単位:百万円)

		2016年3月期		2017年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		50,419	100%	50,500	100%	81	0.2%
製品別	発電機	38,294	76.0%	38,400	76.3%	106	0.3%
	溶接機	5,100	10.1%	4,800	10.2%	△300	△5.9%
	コンプレッサ	1,104	2.2%	1,300	1.9%	196	17.8%
	その他	5,919	11.7%	6,000	11.5%	81	1.4%

# 地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2016年3月期		2017年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		50,419	100%	50,500	100%	81	0.2%
国内売上高		30,115	59.7%	31,400	62.2%	1,285	4.3%
海外売上高		20,304	40.3%	19,100	37.8%	△1,204	△5.9%
地域別	北・中米	9,776	19.4%	10,200	20.2%	424	4.3%
	アジア	6,921	13.7%	6,100	12.1%	△821	△11.9%
	その他	3,606	7.2%	2,800	5.6%	△806	△22.4%



# 営業利益予想の内容

## 営業利益微増

営業利益及び営業利益率ともに前期並み。

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期(予)	前期比
営業利益	4,097	4,100	3
営業利益率	8.1%	8.1%	±0

	2016年3月期	2017年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	24.1%	24.6%	0.5ポイント
売上高販管費比率	16.0%	16.4%	0.4ポイント
売上高営業利益率	8.1%	8.1%	±0ポイント

売上総利益率は、円高等による輸入原材料費の減少を見込む。  
売上高販管費比率は、人件費の増加を見込む。

# 今後の経営方針

**経営理念:** パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに  
徹し、「**三者の得**」を追求。  
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)



## 経営戦略:

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規関連事業への参入。

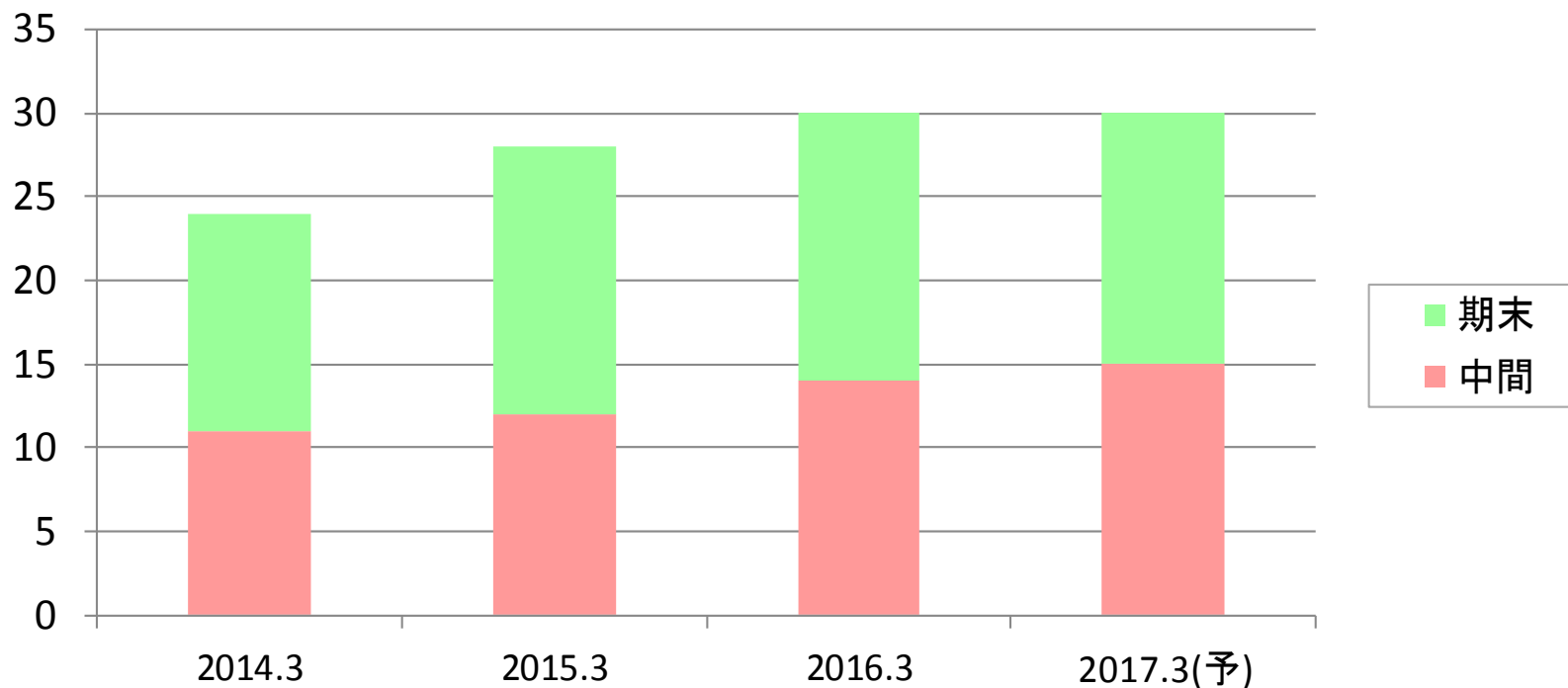
## 目標経営指標:

- ①ROE 8%以上 (2016.3期 6.5%)
- ②売上高経常利益率 12%以上 (同 8.9%)

# 利益配分の方針

利益配分：収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 15年3月期 28円 ⇒ 16年3月期 30円 ⇒ 17年3月期 30円予想)



# 今後の事業戦略

## ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機



防災用発電機

建設関連以外の  
市場向け製品の拡充



防災用・非常用発電機事業の拡充  
電源車の拡販

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準  
装備の発電機・溶接機・コンプレッ  
サをシリーズ化し、環境対応へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の  
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく  
ベトナム工場で発電機を製造

# 見通しに関する注意事項

---

この資料には、2016年11月10日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。  
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画部 西川・後藤

電話：03-6861-1178

FAX：03-6861-1185

---

# 參考資料



# 当社の概要

## エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立  
昭和34年 我が国初のエンジン溶接機を開発、発売  
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始  
昭和41年 防音型開発  
デンヨー株式会社に社名変更  
昭和58年 東証二部上場  
平成12年 東証一部上場

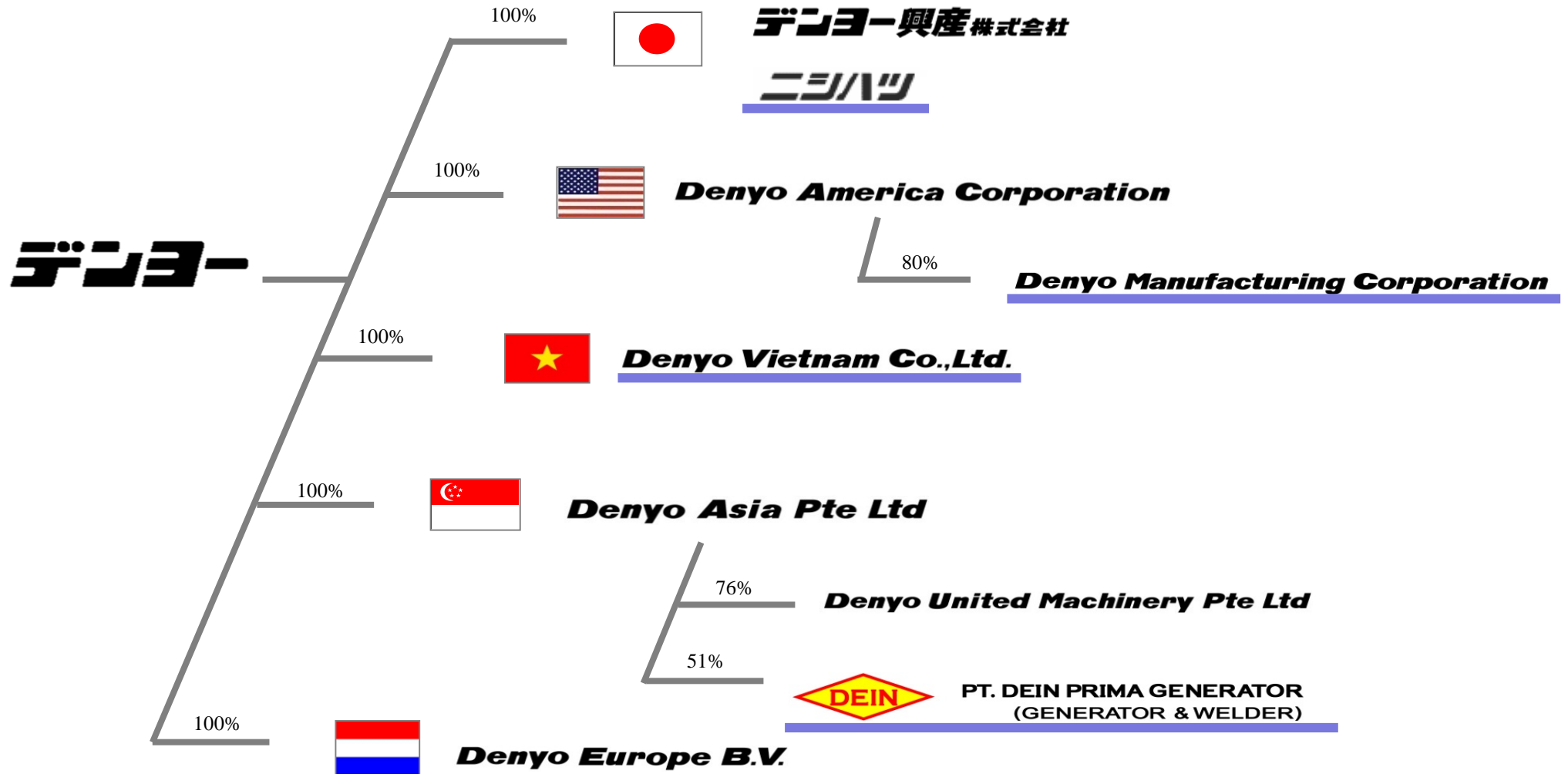
● 会社規模など（2016/3期・連結ベース）  
(単位：百万円)

売上高	50,419
うち海外売上高	20,304
経常利益	4,494
当期純利益	3,137
総資産	66,994
純資産	50,812
時価総額（3/31時点）	26,494
従業員数	1,165人



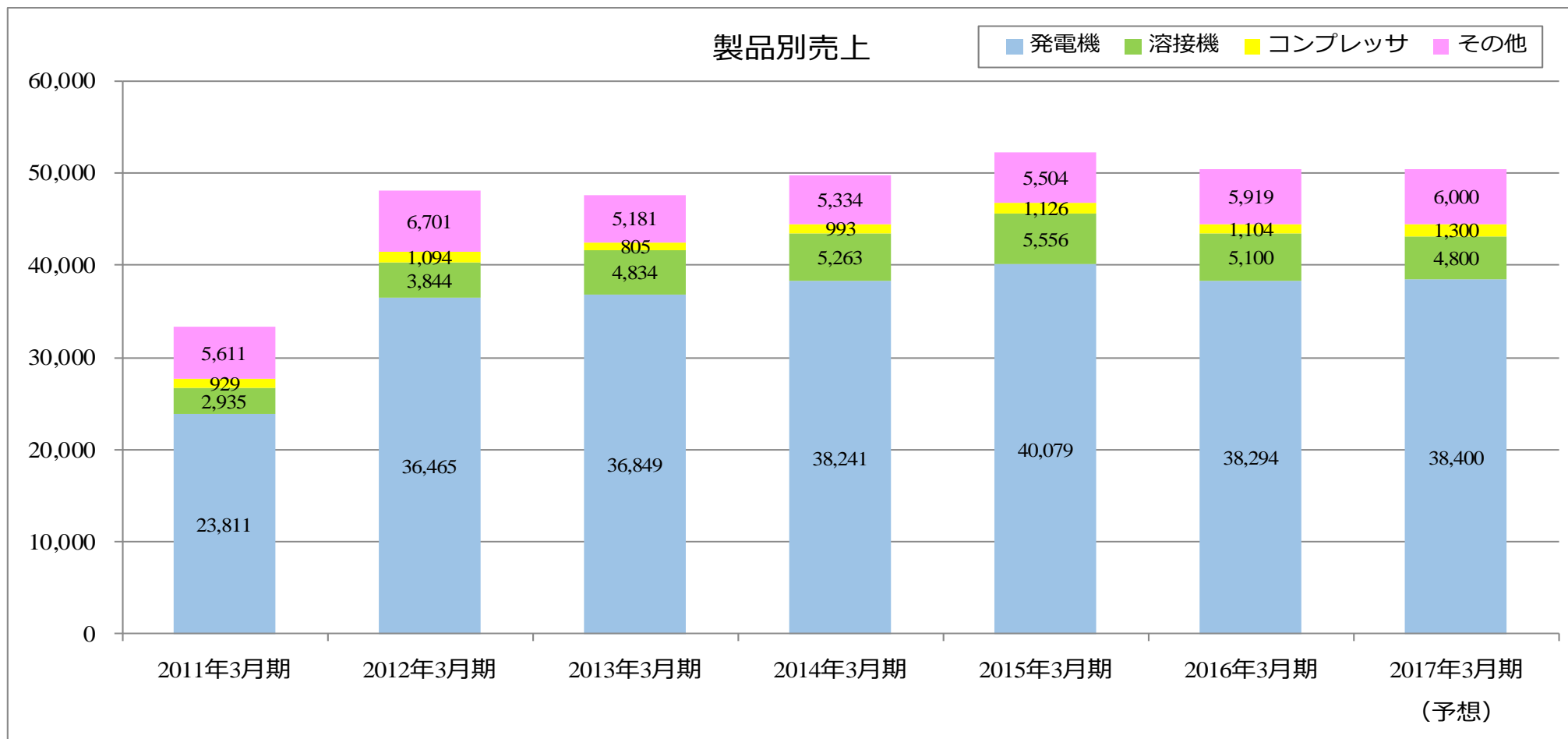
本社（日本橋堀留町）

# グループ会社

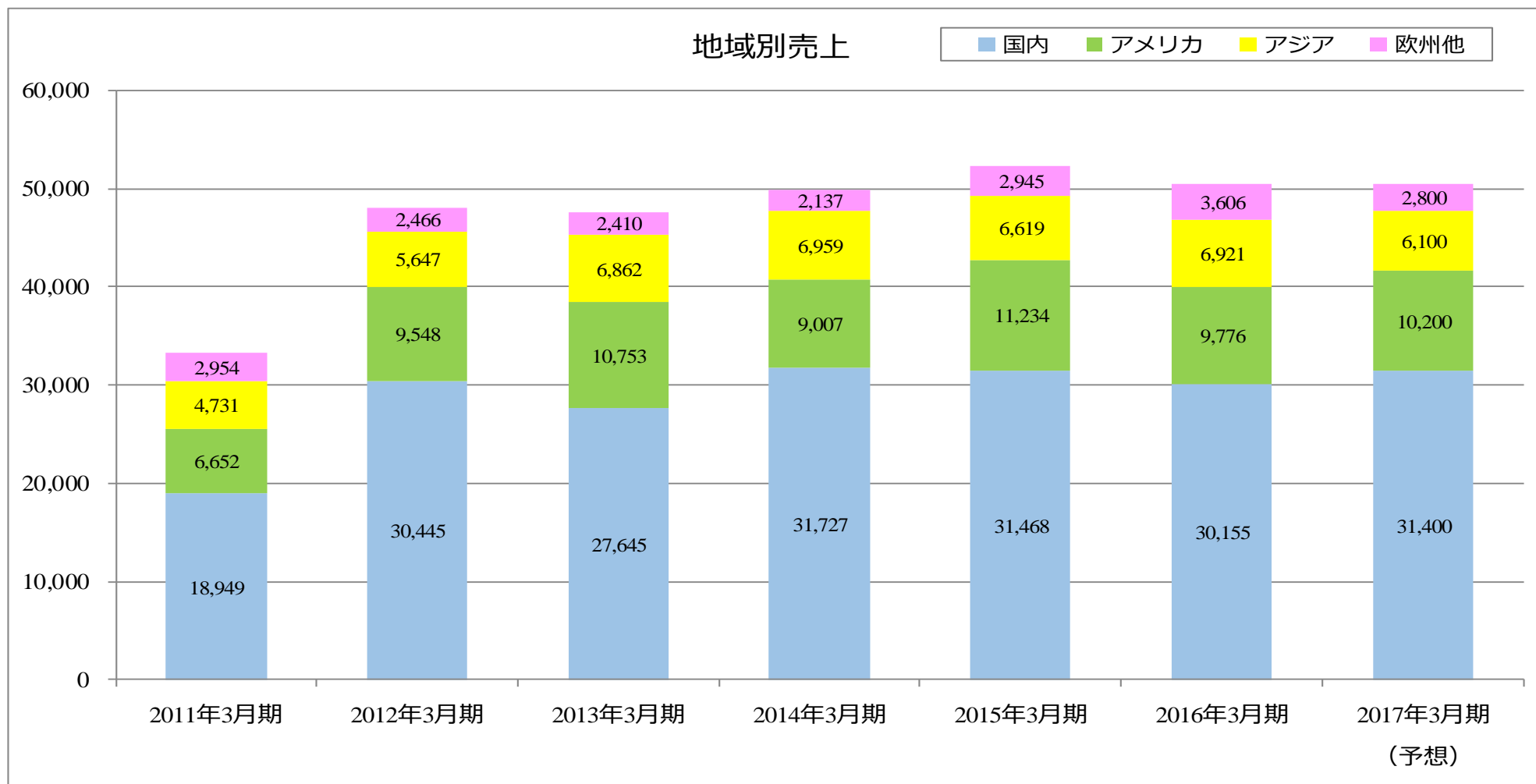


※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。  
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

# 製品別推移と予想



# 地域別推移と予想



# 過去30年間の業績の推移

